

# 認定

平成25年度決算は、9月8日に決算特別委員会（議長と監査委員を除く12人）を開会し、10会計を審査しました。

9月12日の本会議で採決の結果、全会一致で認定しました。



平成25年度各会計決算額表		
会計項目	歳入(町の収入)	歳出(町の支出)
一般会計	87億3559万円	80億9159万円
特別会計		
十王財産区	143万円	19万円
下水道	6億6413万円	6億4878万円
国民健康保険	16億6866万円	15億9277万円
農業集落排水	1億4241万円	1億3727万円
介護保険	15億3605万円	15億1131万円
後期高齢者医療	1億3671万円	1億3668万円
企業会計		
水道	収益的収支	3億1144万円
	資本的収支	1049万円
病院	収益的収支	11億3639万円
	資本的収支	3420万円
訪問看護ステーション	収益的収支	3614万円
	資本的収支	0
合計	144億1364万円	138億3244万円

※万円未満は端数を整理しています。

## 討論

賛成討論 奥山 勝吉議員

平成25年度予算編成は第5次総合計画における前期計画に基づき、推進してきた事業を検証取捨選択をはかりながらまちづくりの将来像の実現にむけて効率的かつ効果的な施策の充実に努めていく観点から見ますと歳入の自主財源である町税は全体で1.1%の増加となっているように所得金額の伸び等に伴い、個人町民税が2.4%増加となっている。このことは、白鷹町の経済発展が大事であるかを垣間見るおもしろいであり、町民の所得金額の向上に向けた施策のさらなる努力を希望するものであります。

さて決算書において不用額を見ますと24年度は約4億79万円、25年度は約4億977万1万円となっています。7月の豪雨災害の影響によると推

※一般会計予算に対する反対討論はありませんでした。

測されますが不用額の出ない予算執行を求めるものであります。財政全般について見ますとかなりの努力と改善が見られる所は高く評価します。依存財源である地方交付税等における基準財政需要額の算定の基礎となる測定単位なかで、人口の割合が一番重要であり人口増の施策を重点的に取組んで行くべきであります。財政の運営において大事な基金である財政調整基金を災害復旧のために約3億2千万円を取り崩しながらも約3億8千万円の積み増しにより年度末残高が約10億円になった事は将来の財政需要に向けた対応であり評価するものです。また、ふるさと応援基金の年度末残高が約2千4百万円になった事を高く評価し賛成討論とします。